

九州電力株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資について

JAいずみの(代表理事組合長 谷口 敏信、以下「当JA」という)は、このたび、九州電力株式会社(以下「同社」という)が発行するグリーンボンドに投資しました。

グリーンボンドは、「電源の低・脱炭素化」に向けて同社が策定した「九州電力グリーンボンド・フレームワーク」に基づき発行されたもので、再生可能エネルギーの開発等、環境改善効果のある事業に用途を限定した債券で、同社ではこの取り組みがSDGs(※)の達成にも寄与するものと考えています。

SDGsの取り組みにある「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」は協同組合の精神である相互扶助と共通するものです。当JAは相互扶助の精神に基づき、将来ビジョンである「食と農を基軸に地域のオピニオンリーダーになる」の実現に向け、さまざまな自己改革に取り組んでいるところです。

今後も適切なリスク管理のもと、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域に根差したJAとしての社会的責任を果たしたいと考えています。

そして、グリーンボンドへの投資が、環境改善のために活用され、地域農業・経済のさらなる発展に繋がっていくことを期待しています。

●債券の概要

銘柄名	九州電力株式会社第 494 回社債(グリーンボンド)
発行日	令和 3 年 6 月 10 日
発行総額	150 億円
当 JA 購入額	1 億円
期間	10 年

※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。